

# ことわざ

す

雀の涙  
すずめ  
なみだ



雀の涙  
すずめ  
なみだ  
ごく僅かなものの喩え。  
非常に少ないこと。



せ

青天の霹靂  
せいてん  
へきれき



青天の霹靂  
せいてん  
へきれき  
青く晴れた空に突然に起こる  
雷という意味で、思い掛けず起る  
突発的事変。突然の大事件。



青天の霹靂  
せいてん  
へきれき

せ

背に腹は  
せ  
はらひ  
かえられぬ



背に腹は  
せ  
はらひ  
かえられぬ  
大切なことのためには、他のことを  
顧みる余裕などないということ。



せ

善は急げ  
ぜん  
いそ



善は急げ  
ぜん  
いそ  
善いことをするのには、速  
くやるべきである。



善は急げ  
ぜん  
いそ

そ

俎上の魚  
そじょう  
さかな



俎上の魚  
そじょう  
さかな  
「俎」まないたの上に置かれ  
料理されるのを待つばかりの魚という意味で、  
相手の成すがままになるより仕方ない状態、  
また、運命が定まったことの喩え。



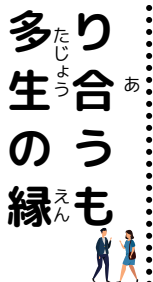
俎上の魚  
そじょう  
さかな

そ

袖振り合うも  
そで  
あ  
多生の縁  
たじょう  
えん



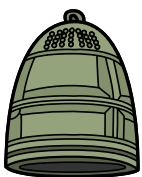
袖振り合うも  
そで  
あ  
多生の縁  
たじょう  
えん  
奥から奥人と袖が触れ合う程度、  
距離なこと、へまたは振り合うような距離も、  
前世からの縁に依るものである。  
どんな小さな事、ちよとした人との交際も、  
全く深い縁に基づくものである。



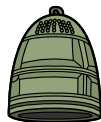
袖振り合うも  
そで  
あ  
多生の縁  
たじょう  
えん

た

大器晩成  
たいき  
ばんせい



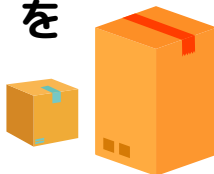
大器晩成  
たいき  
ばんせい  
鐘や鐘（かなづ）のような大きな器物は  
早く作り上げることができない。  
同様に、真の大人物は、青年は遅いけれども  
時間を磨けて実力を蓄けていて、  
後に大成すること。



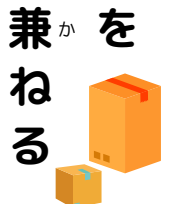
大器晩成  
たいき  
ばんせい

た

大は小を  
だい  
しょう  
兼ねる



大は小を  
だい  
しょう  
兼ねる  
大きいものは小さいものの代わりとしても  
使うことができることを指す。



大は小を  
だい  
しょう  
兼ねる

